

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	土山町猪鼻 (猪鼻)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	7.2 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	7.2 h a
② 田の面積	7.1 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	2.6 h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.6 h a
（備考）	

(2) 地域農業の現状及び課題

三重県との県境の鈴鹿峠の近くある集落で農地面積は少ないが、圃場整備は実施されている。地域内農業者は一名だけとなり、他地域からの入り作者三名（うち一人は近隣の認定農業者、二名は地権者でもある）の計四名で耕作する状況となっている。ただ、認定農業者以外は70歳以上で今後が懸念される。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

水稻を主要作物とし、認定農業者の前田氏に依頼している。ただ、現在も水管理は清水氏が代行し、畦畔の除草も地元で行っている状況で、依頼する担い手が少なくなる中で、集落の域を超えて地域レベルで今後の農業の在り方を考える必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手（認定農業者）への農地の集積・集約を基本とする。 集落域を超えて地域レベル（学区）で、担い手間の協議の場が必要である。その場において、農地の調整を考える必要がある。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	38.8 %	将来の目標とする集積率	43.1 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
特定の担い手に集積を進める			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
離農者が出てきた場合は特定の担い手に集積を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
機構を活用して担い手への利用権の設定を進める
(3) 基盤整備事業への取組
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

✓	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農		④畑地化・輸出等		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	✓	⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携等		⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣害対策は定期的にメンテナンスして継続させる。
- ⑦畦畔の除草管理の省力化の方法を検討する

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		水稻	2.8 ha	ha		3.1 ha	ha	桃	
利用者		水稻	1.7 ha	ha		1.7 ha	ha	青	
利用者		水稻	0.6 ha	ha		0.6 ha	ha	黄	
利用者		水稻	0.3 ha	ha		0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		5.4 ha	0 ha		5.4 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）